



## 株式会社 UACJ

サステナビリティ説明会（プレゼンテーション）

2025 年 11 月 26 日

## イベント概要

---

[企業名]	株式会社 UACJ
[企業 ID]	5741
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	アナリスト説明会
[イベント名]	サステナビリティ説明会（プレゼンテーション）
[決算期]	2025 年 3 月期
[日程]	2025 年 11 月 26 日
[ページ数]	30
[時間]	10:00 – 10:38 (合計：38 分、登壇：38 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	62
[登壇者]	4 名 代表取締役 社長執行役員 田中 信二（以下、田中） 執行役員 サステナビリティ推進本部長 成田 緑（以下、成田）

---

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

執行役員 ビジネスサポート本部長

浦吉 幸男（以下、浦吉）

財務本部 IR 部長

上田 薫（以下、上田）

---

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス [support@scriptsasia.com](mailto:support@scriptsasia.com)



## 登壇

**上田：**お時間となりましたので、これより説明会を開始いたします。本日はお忙しい中、株式会社UACJ サステナビリティ説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

私は、本日司会を務めます、財務本部 IR 部長の上田薫でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この説明会は、弊社のホームページに掲載しております説明資料を使って行います。お手元に資料をご用意されていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですがホームページをご覧ください。

説明会開催に当たり、注意事項を申し上げます。議事の記録のため、本説明会の録画・録音しております。説明会の内容については、後日、当社ホームページにて公開いたしますので、ご出席の皆様による録画・録音はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

また、この説明会では、将来予測を含む情報が提供されることがありますが、これらの情報は当社の現時点での予測に過ぎません。さまざまな要因により、実際の業績がこれら将来予測と大きく異なる場合がございますので、ご留意ください。

### 本日のプログラム

登壇者	内容	時間
田中 信二 (代表取締役 社長執行役員)	アルミニウムの役割とUACJの貢献	10:03～10:40
成田 緑 (執行役員 サステナビリティ推進本部長)	気候変動対策への責任ある取り組み ～UACJグループの環境ビジョン	
浦吉 幸男 (執行役員 ビジネスサポート本部長)	働く一人ひとりのWell-beingの向上 ～UACJグループの人材戦略	
休憩		10:40～10:50
田中 信二 永田 亮子(独立社外取締役) 赤羽 真紀子(独立社外取締役)	UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～	10:50～11:30
休憩		11:30～11:35
質疑応答		11:35～12:00

© UACJ Corporation. All rights reserved.

1

本日のプログラムをご紹介します。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



画面にお示ししておりますように、前半は弊社の役員から3件のご説明をさせていただきます。そして、後半は社長と社外取締役の座談会とさせていただき、最後にまとめて質疑応答のお時間を取らせていただきます。

それでは、本日のプログラムを始めさせていただきます。初めに、代表取締役社長執行役員、田中信二より、開催に当たってのご挨拶と「アルミニウムの役割とUACJの貢献」についてご説明させていただきます。

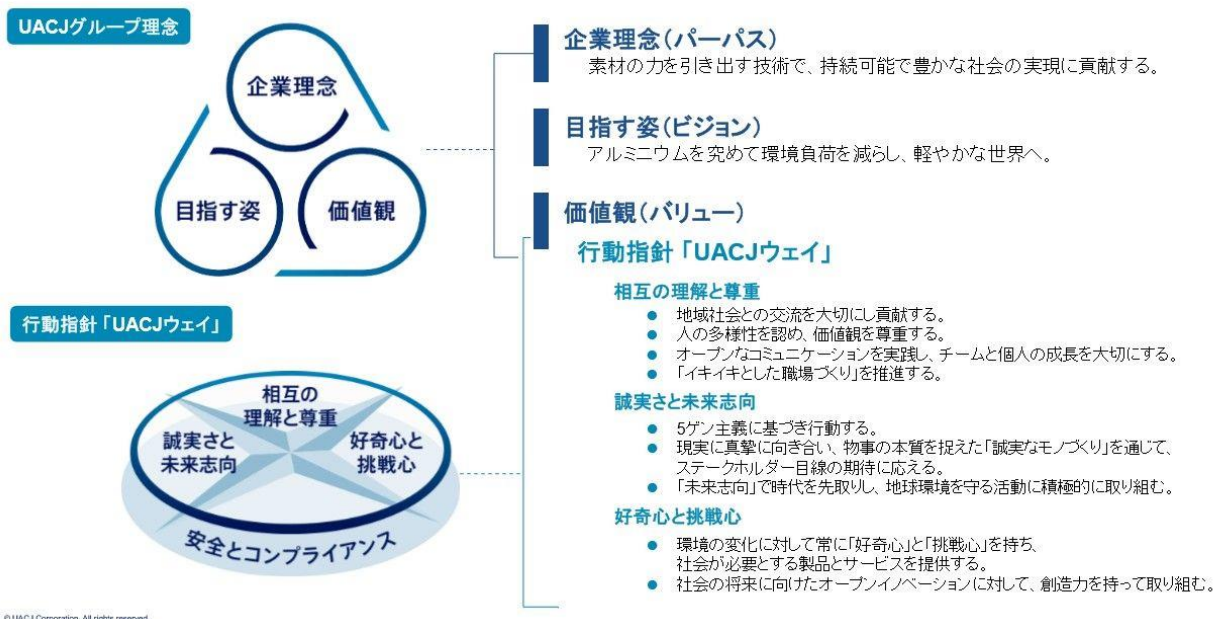
田中さん、よろしくお願いいたします。

**田中：**改めまして、おはようございます。田中でございます。本日は大変お忙しい中、UACJグループのサステナビリティ説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

今日は、私たちUACJがどのように、経済的な価値と社会的な価値の双方を追求し、継続的な企業価値の向上を目指しているのか、その全体像を理念・ビジョン・戦略の観点からご説明させていただきます。

それでは、まず初めに私から、「アルミニウムの役割とUACJの貢献」をテーマにご説明させていただきます。

## UACJグループ理念体系(フィロソフィー)



3

こちらは何度もお示しさせていただいておりますけれども、改めてUACJグループの企業理念となります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

当社は「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」という企業理念のもと、目指す姿（ビジョン）・価値観（バリュー）をこのように定めております。

価値観（バリュー）につきましては、理念に向かうための行動指針として、こちらに示す「UACJ ウェイ」を定めています。

## 長期経営ビジョン “UACJ VISION 2030”

### アルミニウムを究めて、サステナブルな社会の実現に貢献



4

こちらは、2011年5月にお示しした2030年を見据えた長期ビジョンとなります。

私たちは2030年に向けて、このスライドの右側に示す四つの貢献を目指しています。成長分野や成長市場の需要捕捉により、より広く社会の発展に貢献する。素材+αで、社会的・経済的価値の向上に貢献する。新規領域への展開により、社会課題の解決に貢献する。そして、製品のライフサイクル全体を通じて、環境負荷の軽減に貢献する。

モビリティ、ライフスタイル・ヘルスケア、そして環境・エネルギーといった領域で、アルミニウムの力を最大限に生かすべく取り組みをしてまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## UACJグループのサステナビリティ ～軽やかな世界へ導く羅針盤～



### 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。  
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。  
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる  
この特徴は、アルミニウムならではの。  
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を  
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、  
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に  
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い  
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、  
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、  
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。  
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。  
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

5

当社は、「100年後の軽やかな世界のために」というビジョンのもと、サステナビリティ基本方針を活動の基盤として定め、全社一丸で取り組みを進めております。

私たち UACJ グループの目指すべき軽やかな世界を、羅針盤の北と南に例えました。社会とともに UACJ グループが持続可能であり続けるために解決すべき重要なマテリアリティ、環境課題として三つ、社会的な課題として二つを定めております。それらを羅針盤のそれぞれ北と南に置くことで、UACJ グループの目指すべき方向性を示しております。

本日はその中でも、環境と人、ここにスポットを当て、サステナビリティ推進本部長の成田と、ビジネスサポート本部長の浦吉より、当社の取り組みについてご説明させていただきます。

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

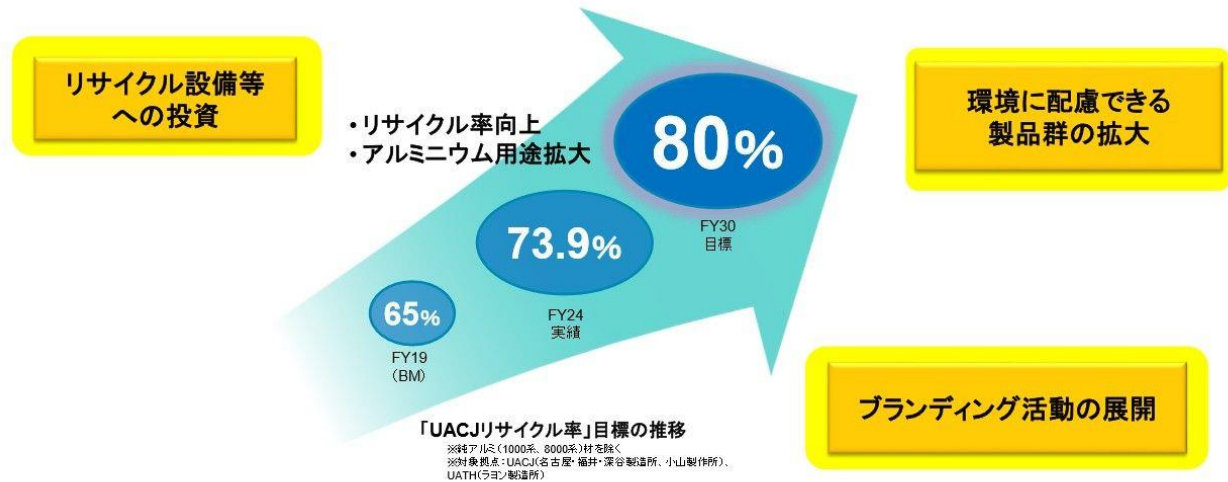
0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com



## 低環境負荷製品の開発、リサイクル施策の進展

### アルミニウムの可能性を追及し、環境への取り組みを加速



© UACJ Corporation. All rights reserved.

6

環境関連の三つのマテリアリティのうち、中心を担うのがアルミニウムの循環型社会の牽引です。

気候変動対策、ネイチャーポジティブへの貢献にもつながっていく、サーキュラーエコノミーの推進は、UACJ リサイクル率を指標とし、2030 年度に 80%を目指しています。2024 年度の UACJ リサイクル率は 73.9%に達し、こちらは順調に進捗してございます。

国内外でのリサイクル設備の新設、グリーン新地金を使用したアルミニウム汎用薄板といった環境配慮製品の拡大、あるいは「ALmitas+ SMART」によるブランディング活動の展開など、サプライチェーンを通じた取り組みを加速させています。

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

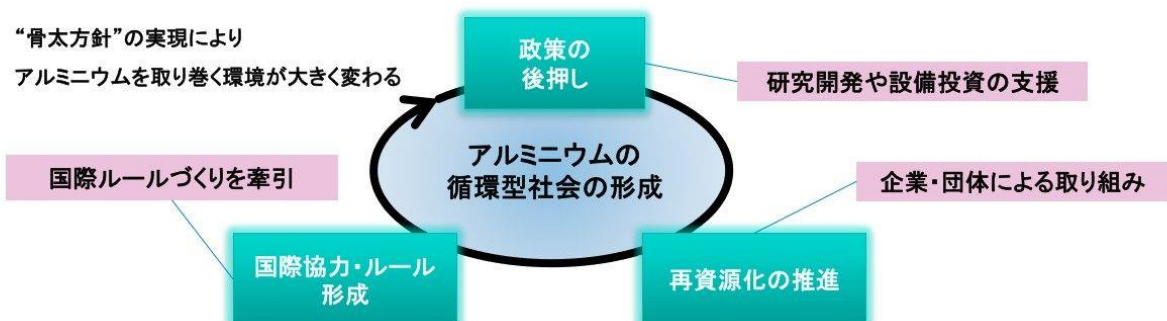
メールアドレス support@scriptsasia.com



## 「骨太方針」への“アルミ”登場

「GXの推進、サーキュラーエコノミー」の推進にあたり

アルミニウムが社会課題解決の重要な要素として、より強い注目を集める



(1)GXの推進：サーキュラーエコノミー（循環経済）については、再生材利用拡大と製品の効率的利用を促進する  
動静脈連携のための制度や太陽光パネルの廃棄・リサイクル制度の検討、プラスチック・  
アルミ等の金属の再資源化を含め、研究開発や設備投資の支援を行うとともに、国際協力やルール形成を推進する。

【経済財政運営と改革の基本方針2025】（令和7年6月13日閣議決定）より抜粋

7

次に、国の政策動向と UACJ の戦略についてお話をまいります。

本年 2025 年 6 月には、閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2025」、いわゆる「骨太方針」が発表されました。この中では、GX の推進とサーキュラーエコノミーの拡大が国家戦略として位置付けられております。この中で、アルミニウムが社会課題解決の重要な素材として初めて登場いたしました。これは、私たち UACJ にとって大変大きな転機であり、大変強い追い風となります。

アルミニウムは、軽量・高強度・高いリサイクル性を兼ね備えた、まさにサステナブルな素材であります。この素材の力を最大限に引き出す技術を持つ私たち UACJ は、政策の後押しを受けながら、社会課題の解決にさらに深く貢献できる立場にあります。

具体的には、リサイクル制度の検討、アルミなど金属の再資源化に向けた各種支援、国際協力やルールの形成推進等が期待されています。これらの動きは、私たちが取り組んできたアルミニウムの循環型社会の構築をさらに加速させるものとなります。

UACJ は、これまで以上にこの政策と連携しながら、動脈と静脈の両面からサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

### サポート

日本

050-5212-7790

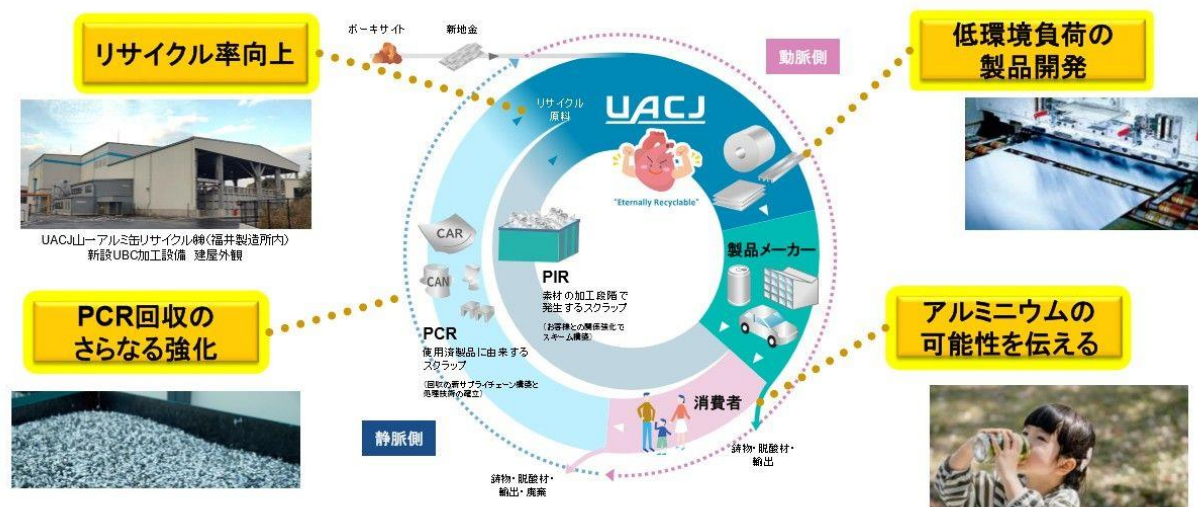
フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com

## アルミニウムへの期待を牽引

### サーキュラーエコノミーの輪を太く、大きくするために



© UACJ Corporation. All rights reserved.

8

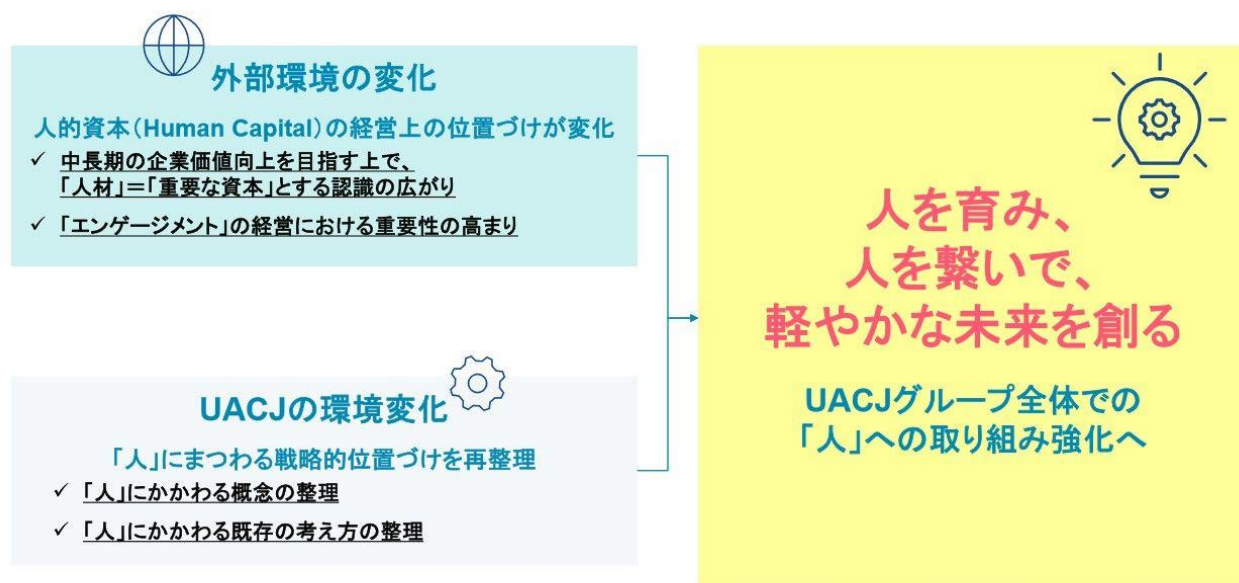
アルミニウムは、何度でも何度でも生まれ変わる無限の可能性を持つ素材であります。この特性を活かしながら、私たちは、サーキュラーエコノミーの輪を太く大きくしていくことを目指しています。

そのため、UACJは単なる素材メーカーの枠を超え、「環境価値の最大化」と「経済価値の創出」の両面を目指していきます。私たちは、国内外の政策動向を踏まえつつ、アルミニウムの循環型社会の実現を常に牽引してまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## UACJの「人的資本」に対する考え方



© UACJ Corporation. All rights reserved.

9

さて、ここからは UACJ の人的資本の考え方についてご説明してまいります。

私たちは、企業価値の源泉は人であると考えています。UACJ グループは、外部環境の劇的な変化に直面する中で、エンゲージメントや Well-being の重要性を改めて強く認識いたしました。

この認識のもと、私たちは人的資本への根本的な考え方、そして人的資本経営のあるべき姿について再定義を行い、その指針となるピープルステートメントを策定いたしました。これにより、人的資本の考え方を全社的に本格推進していきます。

「人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る」。この言葉は、UACJ グループの理念に共感し、働く一人ひとりが未来を創る主役であり、その力が企業の持続的成長の源泉であるという、私たちの強い思いを表しています。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

### 人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。  
それは、UACJグループ理念に共鳴して働く  
わたしたち一人ひとりにほかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、  
軽やかな世界の実現のために、  
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。  
その「Well」を、繋ぎ、広げること。  
誰もがイキイキと輝き、  
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と  
それを支える「働く環境づくり」を  
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、  
軽やかな未来を、みんなで一体となって  
実現していきましょう。



10

人に関する取り組み、これはこれまでも実直に取り組んでまいりましたが、このたび、グループの目指す姿として、UACJのピープルステートメントと人的資本経営の全体像をまとめ上げました。

左側が、UACJグループの人的資本についての考え方をまとめた「UACJピープルステートメント」です。未来を創る源泉は人、まずは働く私たちのWellを高めること、そして最高のチームとなること。そのために、組織づくり、人づくり、働く環境づくりを進めていくという宣言であります。

社員一人ひとりの力を引き出す経営を通じて、軽やかな未来を常に創ってまいります。

## サポート

日本

050-5212-7790

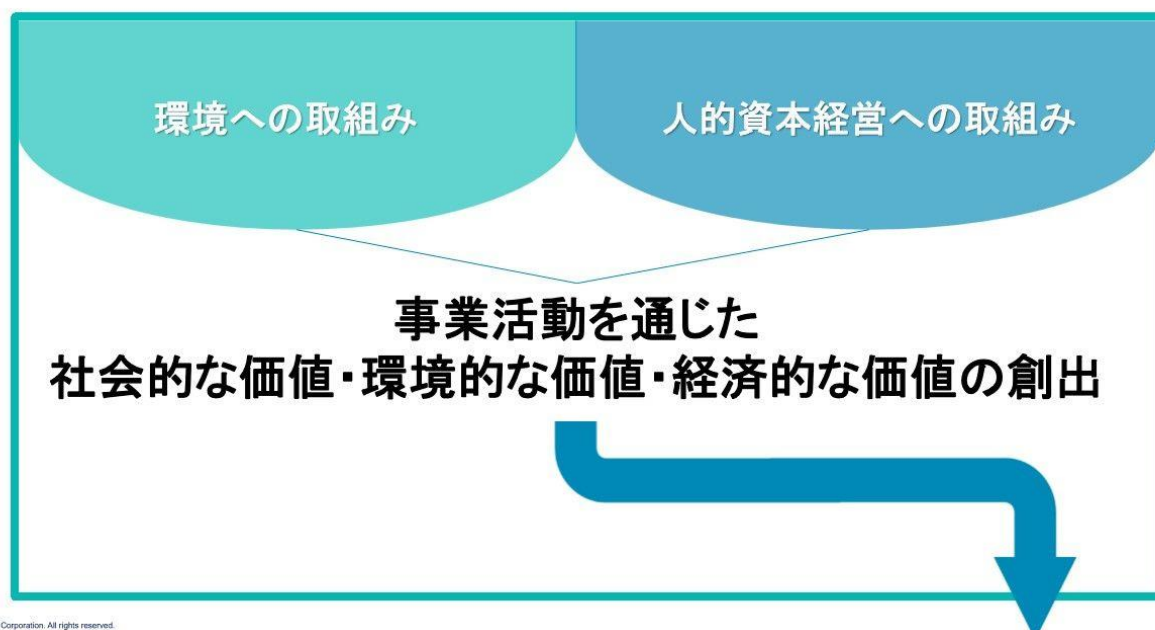
フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasias.com



## UACJグループのサステナブルな活動



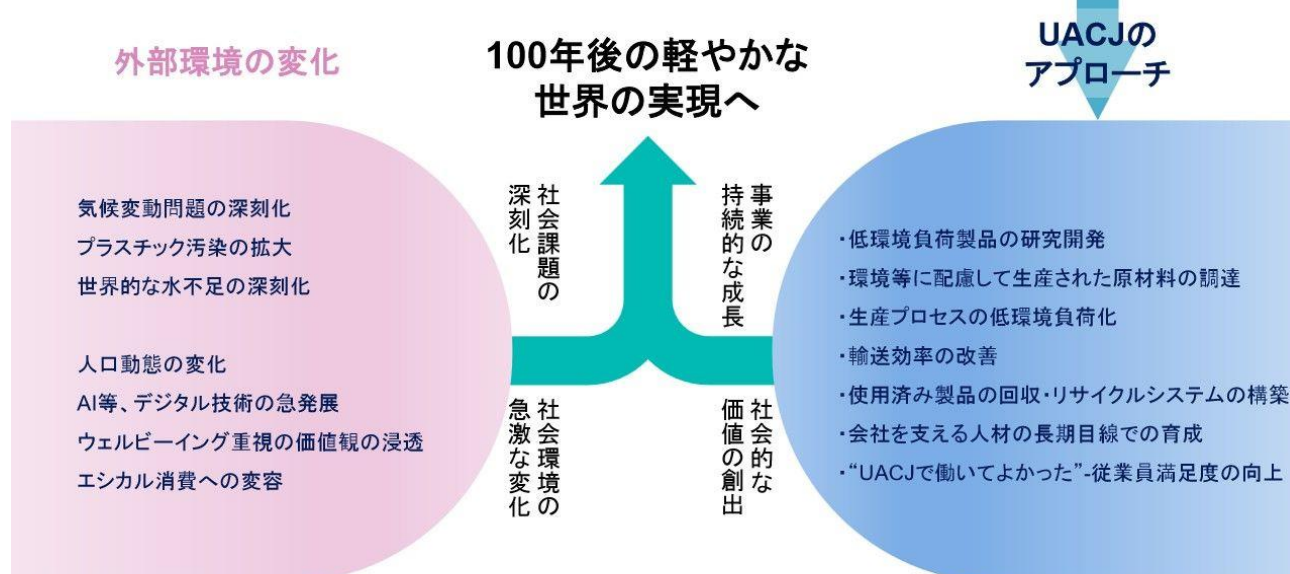
© UACJ Corporation. All rights reserved.

11

私たちの事業活動の目的は、単に経済的な利益を追求することのみではありません。私たちは、環境への配慮、人材への戦略的な投資、そして社会への貢献を通じて、社会課題の解決、環境価値の最大化、そしてその先に経済的な価値を継続的に創造することを目指しています。

UACJ は、事業活動そのものを通じて価値の創出を具現化する企業です。社会的、環境的、そして経済的な成長を、三位一体として進めてまいります。

## 社会的な価値、環境的な価値の創出と、UACJの持続的な企業価値の向上



© UACJ Corporation. All rights reserved.

12

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

私たちは、気候変動や資源制約、人口動態の変化など、社会が直面する課題に対し、低環境負荷製品の研究開発、環境に配慮した原材料調達、使用済み製品の回収・リサイクルシステムの構築、そして人材の長期的な育成など、事業活動の中に課題解決につながる活動を取り込むことで、社会的な価値の創出とともに、持続的な成長を実現してまいります。

UACJ で働いてよかったと、社員が誇りを持てる会社であること。そして、UACJ と取引してよかったと、お客様や社会に信頼される会社であることを積み重ね、100年後の軽やかな世界に向けて取り組みを進めてまいります。

私からの説明は以上となります。ありがとうございました。

上田：田中さん、ありがとうございました。

続きまして、「気候変動対策への責任ある取り組み～UACJ グループの環境ビジョン」と題しまして、執行役員サステナビリティ推進本部長成田緑よりご説明申し上げます。

成田さん、お願いいたします。

成田：サステナビリティ推進本部長の成田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

私から、解決すべき社会課題の一つであります気候変動対策への取り組みについて、こちらの画面の当社オリジナルキャラクター、夢野アル美が見据えているであろう 100 年後の軽やかな世界に向けて、UACJ がどのように活動していくのかをお話しさせていただきます。

## 環境に関するマテリアリティと目標



マテリアリティ	対応課題	評価指標	2030年度目標	2050年度目標
「アルミニウムの循環型社会」の牽引	アルミ合金のリサイクル率最大化	UACJリサイクル率	80%	100%
気候変動への対応	カーボンニュートラルへの挑戦（Scope1, 2）	Scope1, 2排出量の削減率（2019年度比・原単位）	30%	カーボンニュートラル実現
	サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化（Scope3）	Scope3（Category1）排出量の削減率（2019年度比・原単位）	30%	サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化
自然の保全と再生・創出（ネイチャーポジティブ）	水の有効活用による取水の最小化	取水量の削減率（2020年度比・原単位）	25%以上	-

\*1 循環アルミ溶解炉への挿入量（純アルミ材を除く）

\*2 第6次エネルギー基本計画に基づき算出

\*3 種類は下水再生水含む、工業用水、水道水、井戸水、地表水を対象

© UACJ Corporation. All rights reserved.

14

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com



UACJ グループは、環境分野における解決すべき重要課題として、こちらの三つのマテリアリティを掲げております。

「アルミニウムの循環型社会」の牽引、気候変動への対応、自然の保全と再生・創出（ネイチャーポジティブ）でございます。これらは、それぞれ独立したものではなく、お互いに関連性を持ち、支え合い、融合する関係にあることで、UACJ グループの考える環境コンセプトである「緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムを究めて持続可能な社会の形成に貢献する」につながるものでございます。

これらのマテリアリティには、UACJ リサイクル率、Scope1、2、3 の削減率などについてそれぞれ目標値を定めまして、環境負荷低減に向けて進めております。

## 環境に関する取り組みTOPICS

### 低環境負荷対応の推進

- UACJリサイクル率73.9%への到達(2024年度実績)
- リサイクル原料の調達量拡大、使いこなしのための設備能力拡大
- グリーン新地金<sup>\*1</sup>100%のアルミ汎用薄板を発売
- 空調機用熱交換器のアルミフィン水平リサイクル技術を実証
- 「縦型高速双ロール鋳造実験機」の完成、大量のリサイクル材の活用のため実験を推進



### ASI認証の更新

取得拠点:  
福井製造所、名古屋製造所<sup>\*2</sup>、UATHラヨン製造所(タイ)、  
TAAおよびLogan Aluminum Inc.(米国)、  
UWHサンミゲルデアジェンデ製造所(メキシコ)、DUB(中国)

認証有効期間:  
~2026年1月 PS<sup>\*3</sup> (福井製造所: 更新監査受査済み)  
~2028年3月 CoC<sup>\*4</sup>



<sup>\*1</sup> グリーン新地金: 非化石エネルギーを電源とした製錬により生産されるアルミ新地金  
<sup>\*2</sup> 取得に向けて活動中  
<sup>\*3</sup> PS 企業統治・環境・社会的責任について持続可能性や透明性を高めるための基準  
<sup>\*4</sup> CoC 加工・流通過程までの持続的な開発のための基準

© UACJ Corporation. All rights reserved.

15

2024 年から 2025 年に対してのトピックスをこちらに示します。

上段の低環境負荷対応の推進につきましては、例えば先ほどの田中の話にもありましたように、UACJ リサイクル率は 2030 年度目標の 80%に向け、2024 年度実績で 73.9%に達しました。

これにはリサイクル原材料の調達、あるいは使いこなしのための設備の増強などを進めております。さらに、今後に向けて、NEDO の支援を受けて進めております縦型高速双ロール鋳造実験機が完成しましたので、実装に向けた実験を推進しているところです。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



下段は、ASI 認証でございます。ASI は更新が必要であり、PS 認証、CoC 認証とも更新の審査が完了しております。また、新たな拠点としまして名古屋製造所も審査を受けたところです。さらに、米国の TAA および Logan Aluminum Inc.、さらに UWH のメキシコの工場においても、ASI の審査を受けて認定されております。

また、こちら右下に示しますように、ASI 認証材の販売数量は、2022 年と比べて、2024 年は約 20 倍に増えています。これはお客様が環境に配慮した素材をお求めになる中で、UACJ が信頼できるサプライヤーとしての地位を確立してきた証といえます。

## カーボンニュートラル挑戦宣言と進捗



各取り組みはここまで順調に進捗。2030年度目標に向けて一段強い施策を推進  
⇒リサイクル原料等の活用が進み、2024年度目標を達成

### 【Scope1, 2】

(2022年11月公表)

2030年度は30%削減を目指す

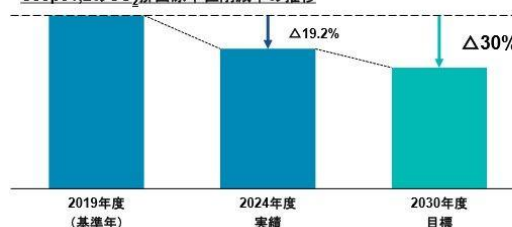
2050年はカーボンニュートラルへ挑戦

### 【Scope3】(2022年11月公表、2023年12月修正)

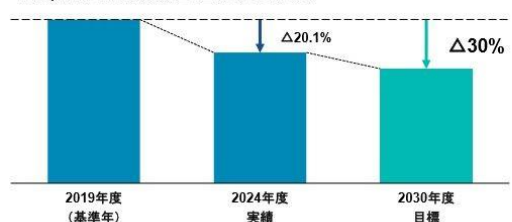
- ✓ 2030年度はリサイクルなどの拡大により30%削減を目指す
- ✓ 2050年はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>等のGHG排出削減活動を行い、GHG排出最小化を目指す

© UACJ Corporation. All rights reserved.

Scope1,2のCO<sub>2</sub>排出原単位削減率の推移



Scope3のGHG排出原単位削減率の推移



16

カーボンニュートラルにつきましては、こちらのグラフに示しますように、Scope1、2、3とも、2030 年度目標に向けて着実に進んでおります。

Scope1、2 につきましては、生産量あるいは製品構成などの要因により、2024 年は大きく低下しました。また Scope3 も、リサイクル率の拡大により、2024 年度の削減率は 20.1%となっています。

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com



## UACJグループで取り組むカーボンプライシング



国内の化石燃料に含まれる  
CO<sub>2</sub>排出量に課金

**化石燃料  
賦課金  
(炭素税)**

<UACJグループへの影響>

エネルギーコストの上昇、  
賦課金の有無による競争力変化  
等

EU域内に輸入される製品に  
炭素コストが課される

**CBAM**

<UACJグループへの影響>

サプライチェーンを通じた排出量の算定、  
報告体制の整備や低炭素製品への  
転換が急務

国内の排出量取引制度

**GX-ETS**

<UACJグループへの影響>

排出枠の管理義務、  
排出枠の戦略的活用

© UACJ Corporation. All rights reserved.

17

このように、カーボンニュートラルに取り組んでいくことは、気候変動対策のみならず、こちらに示したように、例えば、いわゆる炭素税といわれている化石燃料賦課金、CBAM、日本国の排出量取引制度などが進んでまいりますので、財務的な影響も大きくなってくると考えております。

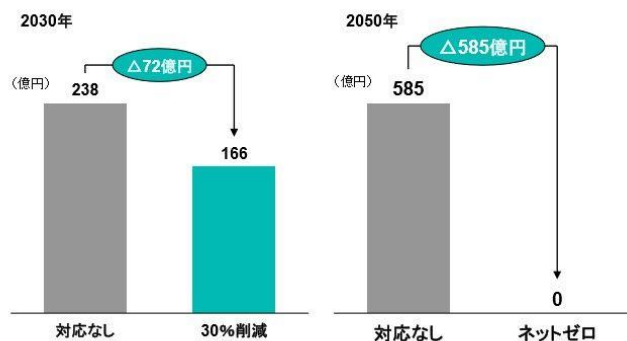
次のページから、それぞれ今進めております施策についてお話しいたします。

## 化石燃料賦課金(炭素税)の導入によるリスクと機会の評価と取り組み



省エネのための既存設備の更新や新規導入、再生可能エネルギーの活用を進め  
サプライチェーンを通じた環境負荷の低減へ貢献していく

炭素税の財務影響額試算(収益)



<試算の前提>  
シナリオ IEA, WEO(World Energy Outlook)2024 NZE(1.5℃)シナリオ  
CO<sub>2</sub>価格(USD) 2030年度:140USD、2050年度:250USD  
為替 140円/\$

※その他、TCFD提言に基づく情報開示は、UACJ Report2025 p65-66をご参照ください  
UACJ Report 2025

© UACJ Corporation. All rights reserved.

炭素価格(炭素税・国境炭素調整)によるリスク/機会の評価と対応策

	事業インパクト	対応策
リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 輸入原料・資材の調達コスト増加</li> <li>✓ 電力コスト増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減目標の設定</li> <li>➢ 長期的なエネルギー使用量削減目標の設定</li> <li>➢ インターナルカーボンプライシングの導入</li> </ul>
機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ GHG排出量抑制が不十分な国・地域による製品の競争力低下に伴う当社製品販売機会と収益の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減施策の実施</li> <li>➢ 森林等のCO<sub>2</sub>の吸収とクレジット制度の活用</li> <li>➢ 削減貢献量の評価方法構築</li> <li>➢ 脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転</li> </ul>

18

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com





まず、化石燃料賦課金についてです。

こちらは、事業に対するインパクトが非常に大きいのではないかと考えております。化石燃料に含まれる CO<sub>2</sub> の排出量に合わせて賦課される金額ですので、われわれの使用量が増えると、その金額も増えるものでございます。

しかしながら、Scope1、2 の目標を達成しますと、2030 年では 72 億円の財務影響を減らすことができ、2050 年につきましては、500 億円以上のリスクの軽減につながると考えております。

こちらは TCFD 提言に基づく情報開示としまして、統合レポートにも掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

## CBAM開始を見据えて



**EU域への製品出荷の拡大に向け、CBAM対応は必須事項**  
**環境負荷を抑えた製品づくりを通じ、国際競争力を高めていく**

**CBAM**  
EU域外で生産された製品に対して、EU域内の炭素価格との差額分の支払いを求めるもの  
段階的に導入が進み、2026年1月より本格適用開始予定  
※排出量の算定方法、申告方法、納税時期や負担割合等、詳細が今後公表予定



© UACJ Corporation. All rights reserved.

19

また、欧州に輸出する製品に関しましては、CBAM の適用が 2026 年から予定されております。

こちらは、欧州の域外で生産された製品に対して、欧州域内との炭素価格の差に基づいて、欧州のお客様が支払いを求められるものでございます。欧州のお客様から UACJ に対して算定の要請があり、それに対して UACJ が製品とともに排出量の提供を進めています。こちらは欧州の委員会で、算定方法や申告方法の検討が今進められているところです。

われわれとしましては、環境負荷低減製品の開発・生産に努めることで、お客様の負担を減らすことができると考えております。欧州をはじめ、世界のお客様から当社が選ばれ続けるように、こういった製品の開発・生産に努めていきます。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ①



2023年度より、「GXリーグ」において、自主的な排出量取引制度が試行。

GXリーグにおける試行的取り組みの成果を踏まえ、**2026年度より排出量取引が義務化へ**

対象企業	Scope1で年間排出量が10万t以上である企業
排出枠価格	排出枠取引市場・取引価格がベース ⇒毎年の上下限価格が設定され、上下限価格は毎年引き上げ予定
制度開始時期	2026年4月スタート

<GX-ETSの段階的発展のイメージ>



© UACJ Corporation. All rights reserved.

20

次は、日本国排出量取引制度でございます。

日本でも、排出量取引制度が義務化されます。2023年からGXリーグという形で排出量の取引制度が進んでおりまして、その取り組みの成果を踏まえて、2026年度、来年度から排出量の取引が義務化されます。

対象となるのは、年間排出量がScope1で10万トン以上の企業です。アルミニウム業界、数社ございますけれども、当社もその対象となっています。排出量低減の目標として、政府から割当量があり、その割当の枠からはみ出る分の排出量がありますと、その分を取引として枠を購入する形で費用が発生することになります。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ②



### 経済産業省の動き



© UACJ Corporation. All rights reserved.

### アルミ業界の動き

#### BM案補正内容

アルミニウム製品の製造工程を「上工程(溶解工程)」と「下工程(製品工程)」に区分し、上工程にて補正を実施したい

⇒企業間のばらつきを低減し、省エネに対する努力が等しく評価される制度を目指す

#### ➤ BM案追加提示

(優先検討10業界以外で経済産業省へ了承を取り、追加案を提示したのは5業界のみで、その内の一つがアルミ業界)

#### ➤ 素材間競争の不利を是正

BM案提示に向けて調整

#### ➤ アルミ業界BM案は、“軽圧”業界にて作成

21

当社は、名古屋製造所・福井製造所とも非常に多くの製品を生産していることから、この基準に該当しています。ただ、排出量が多い業界につきましては、業界ごとのベンチマークを設定して削減を図るという手段が取られております。

例えば、鉄鋼やセメントといった、非常に排出量の大きな業界ではこういった制度が取られますし、アルミニウムも当初はこの対象にはなっていなかったんですけども、アルミニウム業界一丸となって進めることで、ベンチマークの設定のほうで認められるのではないかと、現在その動きをしております。

こちら12月に入ると詳細が分かってまいりますので、その結果どのように進めていくのか、検討をしております。

### サポート

日本

050-5212-7790

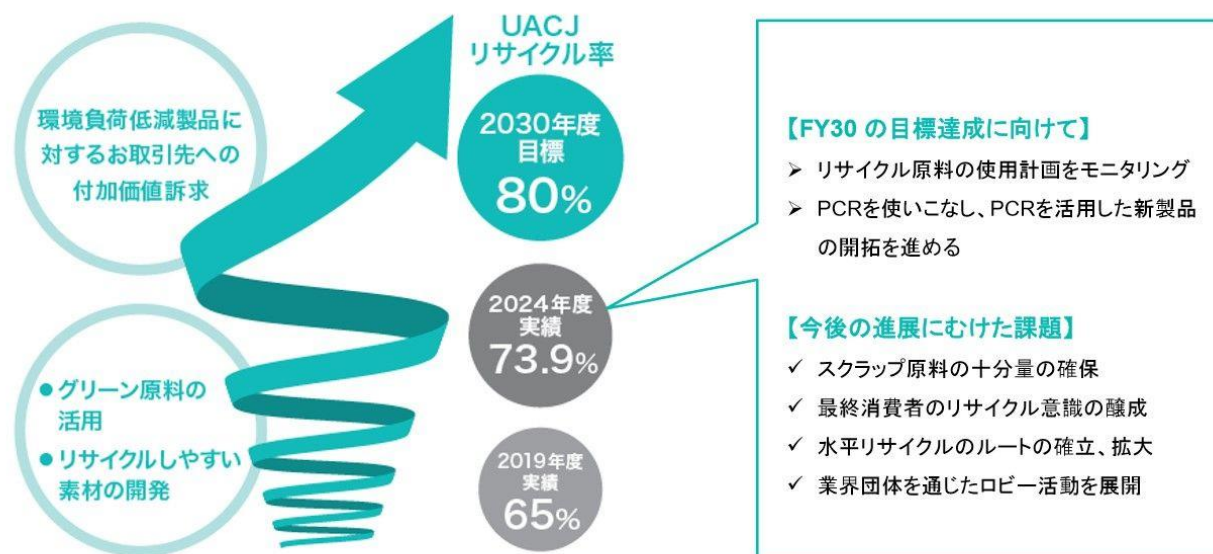
フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com







© UACJ Corporation. All rights reserved.

22

排出量取引制度が本格的に運用されることで、今までは環境の価値がなかなか認められてきませんでしたが、付加価値・環境価値の向上への投資が経済価値の向上につながっていく、スパイラルアップが進んでいくのではないかと考えております。

UACJ リサイクル率は、2019年度が65%であったところから、2030年度目標の達成に向けて、2024年度は73.9%となりました。これはリサイクル原料の使用率をモニタリングする、あるいは市場からのスクラップ回収に努め、PCRを活用した新製品の開発を進めるなどの手法を取って進めてまいります。

当社のリサイクルしやすい素材の開発がお客様にも認められ、それを購入していただいて、さらにお客様の環境の価値を追求することができる、こうしたところが今進んでいます。今後はさらに、スクラップの十分な量の確保、あるいは業界団体を通じたロビー活動も含めてリサイクルを進めたいと考えております。

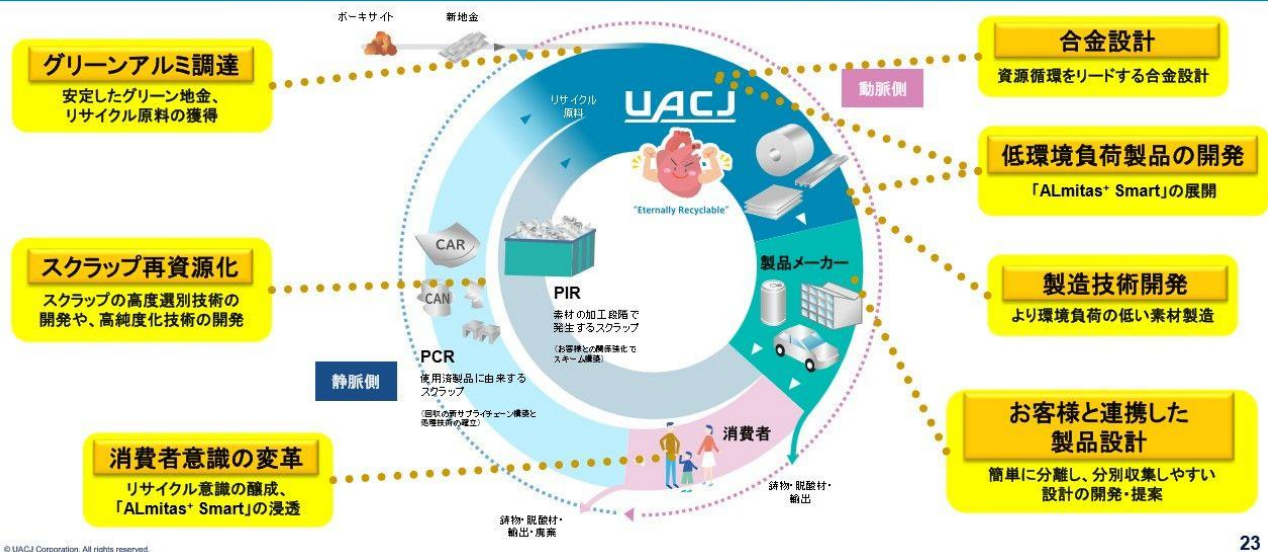
### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## アルミニウム資源循環のありたい姿



資源調達の強靱化、環境負荷低減、競争力向上を目指す



23

アルミニウムの良さは、先ほど田中からありましたように、何度でも永久にリサイクルできることです。この良さをいかに発揮するためには、UACJ グループとして、サプライチェーン全体での取り組みが必要と考えております。

UACJ グループの強みは、合金設計や低環境負荷製品の開発といった、まさにアルミニウムを鋳造から製品までリニアで扱っている企業であるところです。

さらに、今までアルミニウムについて真摯に技術開発をし、お客様と取引してきたことで、お客様と連携した製品設計を行うことができます。リサイクル製品を使ったお客様の製品にどのように組み込むかなどの製品設計の提案、あるいは分離選別しやすいリサイクルに適した製品の設計の提案などをお客様と一緒に進められるところが、当社の非常に大きな強みでございます。

また、今まで取引してきたサプライヤーの皆様とのつながりを使いまして、スクラップの高度選別技術の開発や、新たな資源の調達なども進めていくことができます。UACJ グループの強みである、合金設計やお客様への提案、サプライヤーの皆様とのつながり、これらを生かして、アルミニウムの循環の心臓として動いていけるように活動してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

## 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



### UACJグループの考える環境コンセプト

#### 緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、持続可能な社会形成に貢献して参ります

アルミニウムは毎日の生活になくてはならない身近なライフラインを支える素材であるとともに、モビリティ、宇宙産業、ヘルスケア、IT など幅広い分野で活躍する素材。アルミニウムを使うことで、資源エネルギーの削減や環境負荷を減らせるなど、さまざまな可能性を秘めています。

そんなアルミニウムの生産に、多くの地球の資源を利用してきたUACJだからこそ、環境への取り組みには従来から真摯に向き合ってきました。環境関連の法令や基準を遵守するのはもちろんのこと、取水量の削減や利活用など、「水」「土壌」「大気」「資源エネルギー」といったあらゆる観点から私たちの“当たり前”として取り組んできました。

そして今、私たちは、社会や地球といった私たちを取り囲むすべてに視野を広げています。たとえば、資源循環の心臓の役割を果たすこと。バリューチェーン全体で温暖化ガス排出量を最小化し、カーボンニュートラルを実現すること。さらに、水資源など自然を保護することに留まらず、再生・創出につながるポジティブな活動を展開すること。

私たちUACJグループは、アルミニウムの可能性をさらに追及して、環境への取り組みを続けていきたいと思いを。未来の子どもたちに軽やかに豊かな社会を渡すために。

24

緑や豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究め、環境への取り組みを進めてまいります。社会課題の解決による持続可能な社会の形成に貢献すること、ならびに UACJ グループが企業価値を高めていくことにもつながっていくと信じております。

成田からのお話は以上でございます。ありがとうございました。

**上田：**成田さん、ありがとうございました。

次に、「働く一人ひとりの Well-being の向上～UACJ グループの人材戦略」と題しまして、執行役員ビジネスサポート本部長の浦吉幸男よりご説明申し上げます。

浦吉さん、お願いいたします。

**浦吉：**ビジネスサポート本部長の浦吉でございます。本日はよろしくお願いいたします。

それでは、私から、「働く一人ひとりの Well-being の向上に向けて～UACJ グループの人材戦略」につきまして、ご説明させていただきたいと思いを。

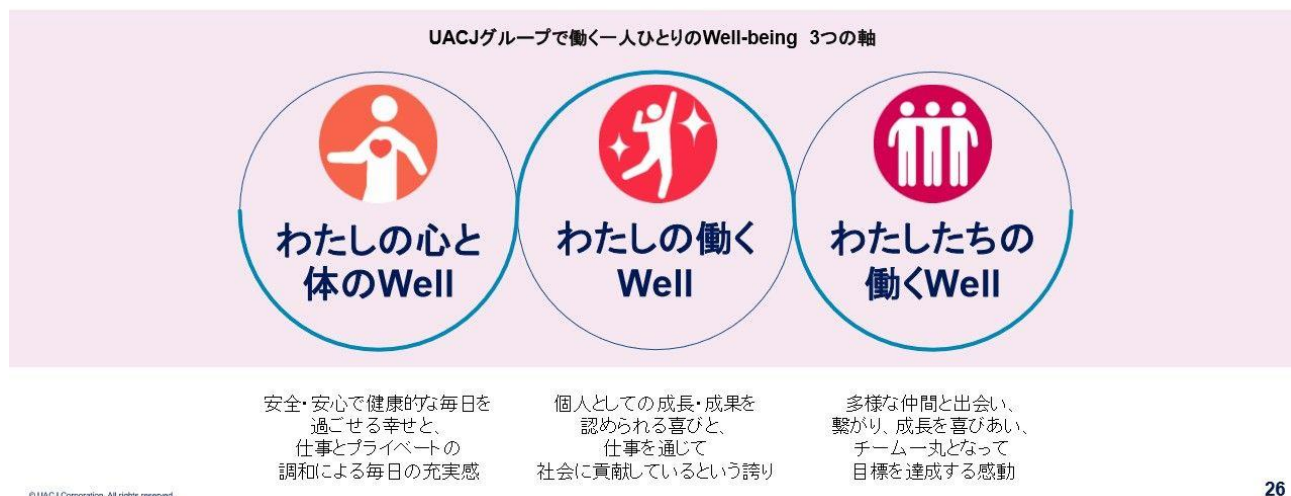
### サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## UACJグループの“Well-being”

「働く一人ひとりのWellの向上」と「人材・組織づくりの推進」の好循環を図り、  
企業理念・企業価値の実現を目指す



26

まず、当社 UACJ グループは、「わたしの心と体の Well」、「わたしの働く Well」、「わたしたちの働く Well」、この三つの Well を軸とし、働く一人ひとりの Well の向上と、人材・組織づくりの推進の好循環を図り、企業理念・企業価値の実現を目指したいと考えています。

## ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

### 人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。  
それは、UACJグループ理念に共鳴して働く  
わたしたち一人ひとりにほかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、  
軽やかな世界の実現のために、  
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。  
その「Well」を、繋ぎ、広げること。  
誰もがイキイキと輝き、  
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と  
それを支える「働く環境づくり」を  
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、  
軽やかな未来を、みんなが一体となって  
実現していきましょう。



27

こちらは、冒頭に田中が説明した「UACJ ピープルステートメント」と人的資本経営の全体像となります。

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

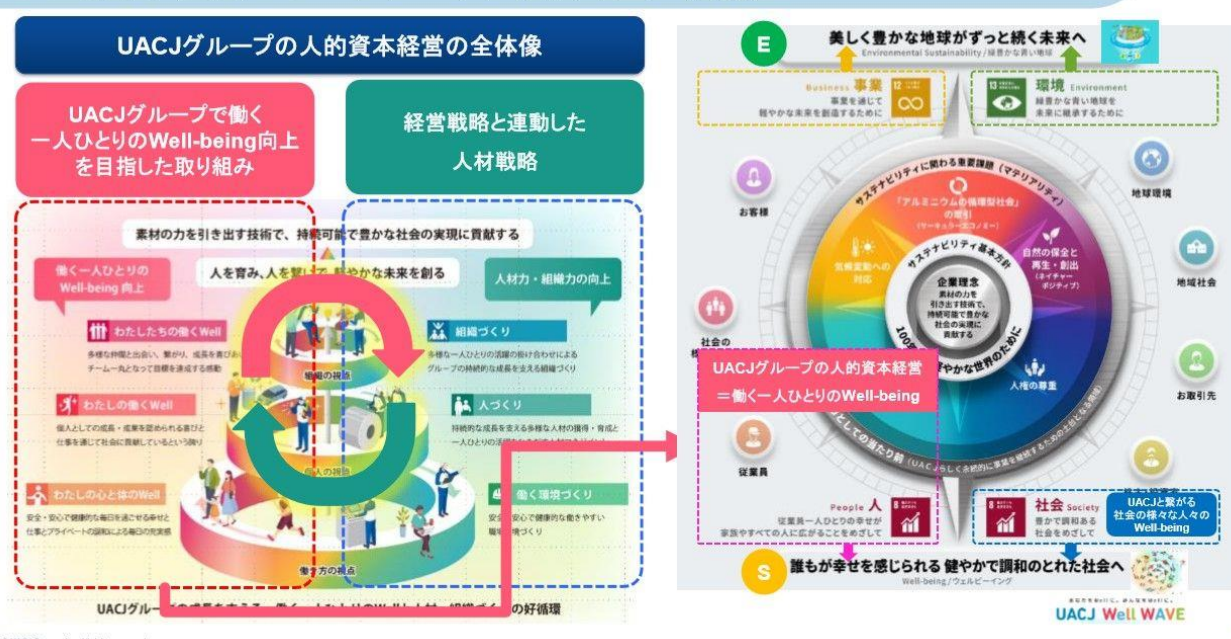
0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com

まず左側に、UACJ グループの人的資本についての考え方をまとめたピープルステートメントを示しています。未来を創る源泉は人、まず働く私たちの Well を高めること、そして最高のチームとなること。そのために、「組織づくり」、「人づくり」、「働く環境づくり」を進めていくという宣言です。

右側の絵が、人的資本経営の全体像です。「組織づくり」、「人づくり」、「働く環境づくり」という三つの人材戦略を推進し、この絵の左側の、「わたしの心と体の Well」、「わたしの働く Well」、「わたしたちの働く Well」を向上させ、好循環させることにより、ピープルステートメントの実現、ひいては企業理念の実現と企業価値の向上につなげていくという、UACJ グループの人的資本経営の全体像になります。

## 人的資本経営とサステナビリティ羅針盤の関係



28

こちらは、人的資本経営の全体像とサステナビリティ羅針盤との関係を示しています。

サステナビリティ羅針盤では、「100年後の軽やかな世界」に向けて、北と南に、これも田中のほうで説明がありましたけれども、二つのありたい姿を示しています。この Well-being を向上させることにより、南に示す、「誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会の実現」へとつながると考えております。

UACJ グループの人的資本経営は、人材・組織づくりの各施策を推進し、UACJ で働く一人ひとりの Well-being 実現を目指すことを通じて、「誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会の実現」へとつながっていく、このような考えを持って推進しています。

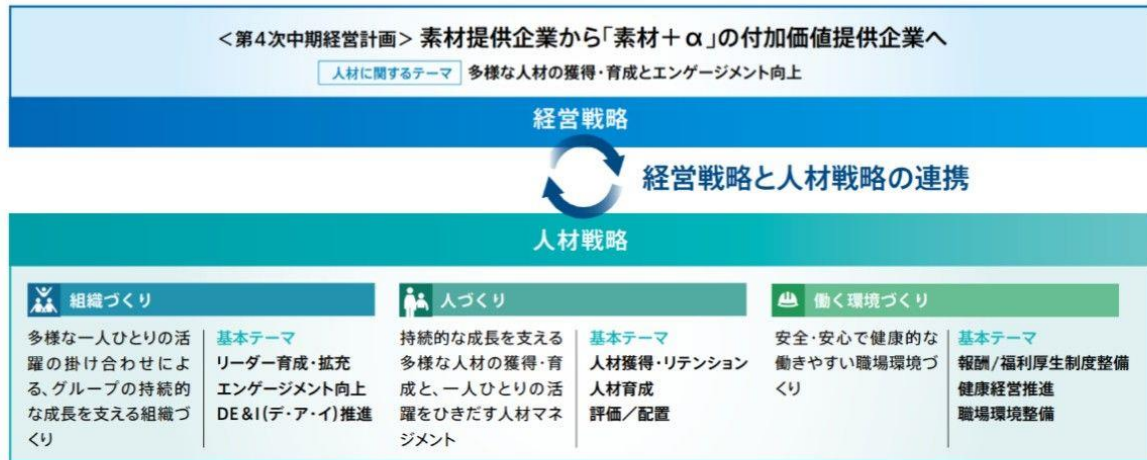
## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



## 経営戦略と人材戦略の連携

「UACJ VISION 2030」の実現に向け、人材ポートフォリオを可視化  
各組織の施策に応じた、最適な人材配置の検討へ



© UACJ Corporation. All rights reserved.

29

こちらは、第4次中期経営計画で、経営戦略と人材戦略の連携を図示したものとなります。

経営戦略と連携して、「UACJ VISION 2030」実現に向け、人材戦略の三本柱である「組織づくり」、「人づくり」、「働く環境づくり」の各施策に落とし込んで取り組んでおります。

## 人材戦略の進展で目指す先

テーマに基づいた施策の実行で、UACJグループの持続的な発展に人材面から寄与

基本テーマ	主要施策		
組織づくり	<b>リーダー育成・拡充</b> 組織の持続的な成長を支えるリーダーの計画的な育成・拡充	<b>エンゲージメント向上</b> 優れたチームワークのもと、やりがいを感じて働ける組織づくり	<b>DE&amp;I(デ・ア・イ)推進</b> 一人ひとりの多様性や価値観を尊重できる組織づくり
人づくり	<b>人材獲得・リテンション</b> UACJウェイの価値観に基づく行動ができる人材の獲得・維持	<b>人材育成</b> 変化する事業環境に応じ、主体的に意思決定、問題解決できる人材を育成	<b>評価・配置</b> 成果を適切に評価し意欲・能力を最大限に活かした配置
働く環境づくり	<b>報酬・福利厚生制度</b> 競争力のある報酬制度と福利厚生制度を整備	<b>健康経営推進</b> 心身ともに健康で、活力ある毎日を過ごす環境を整備	<b>職場環境の整備</b> 安全・安心をベースに、快適で効率よく働ける環境を整備

© UACJ Corporation. All rights reserved.

30

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



こちらは、人材戦略の三本柱である「組織づくり」、「人づくり」、「働く環境づくり」について、どのような人事施策を実施し、どのような姿を目指していくかを示したものです。

「組織づくり」では、リーダー育成・拡充、エンゲージメント向上、DE&I 推進。「人づくり」では、人材獲得・リテンション、人材育成、評価・配置。「働く環境づくり」では、報酬・福利厚生制度整備、健康経営推進、職場環境整備に、それぞれの目指す姿に向けて取り組んでいます。

## Well-being/人材戦略にかかる主なKPI

人材戦略の目標達成を通じて、「働く一人ひとりのWellの向上」と  
「人材・組織づくりの推進」の好循環の実現へ

基本 テーマ	人事施策	課題	評価指標	2027年度 目標	2024年度の取り組み状況
組織づくり	エンゲージメント向上	組織の活性化	エンゲージメント調査における働きがい・やりがい度	3.40点/5.00点	3.30点。国内グループ会社を対象にエンゲージメント調査を実施。各部門でエンゲージメント向上活動を展開
人づくり	人材育成	新たなビジネスと創出する人材の育成	新事業育成に携わった人数 (2021年度～)	累計20人超	累計17人。新事業の企画・育成・実行のための専任組織を設置。社内ベンチャー制度で従業員の挑戦を積極的に支援
		グループ・グローバル視点を持つ人材の育成	事業本部、グループ会社間の管理職層の異動者数	累計20人超	累計8人。グループ公募制度やローテーション等により、事業本部やグループ会社間の異動を促進
働く環境づくり	報酬・福利厚生制度整備	人を惹きつける魅力ある人事制度の再構築	エンゲージメント調査における制度、評価、処遇の魅力度	3.00点/5.00点	2.93点。過去最高の賃金改善を実施。統合後10年経過する中で、新人事制度への見直しを検討

その他の人材戦略にかかるKPIは、以下のURLをご参照ください。  
[uacj.co.jp/sustainability/social/pdf/human-capital\\_kpi.pdf](https://uacj.co.jp/sustainability/social/pdf/human-capital_kpi.pdf)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

31

こちらは、人材戦略に関わる主な KPI と 2027 年度目標と 2024 年度の取り組み状況をまとめたものです。

一例ではありますが、それぞれの課題に向け、「組織づくり」においてはエンゲージメント向上、「人づくり」においては人材育成、また「働く環境づくり」においては報酬・福利厚生制度整備に取り組んでいます。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

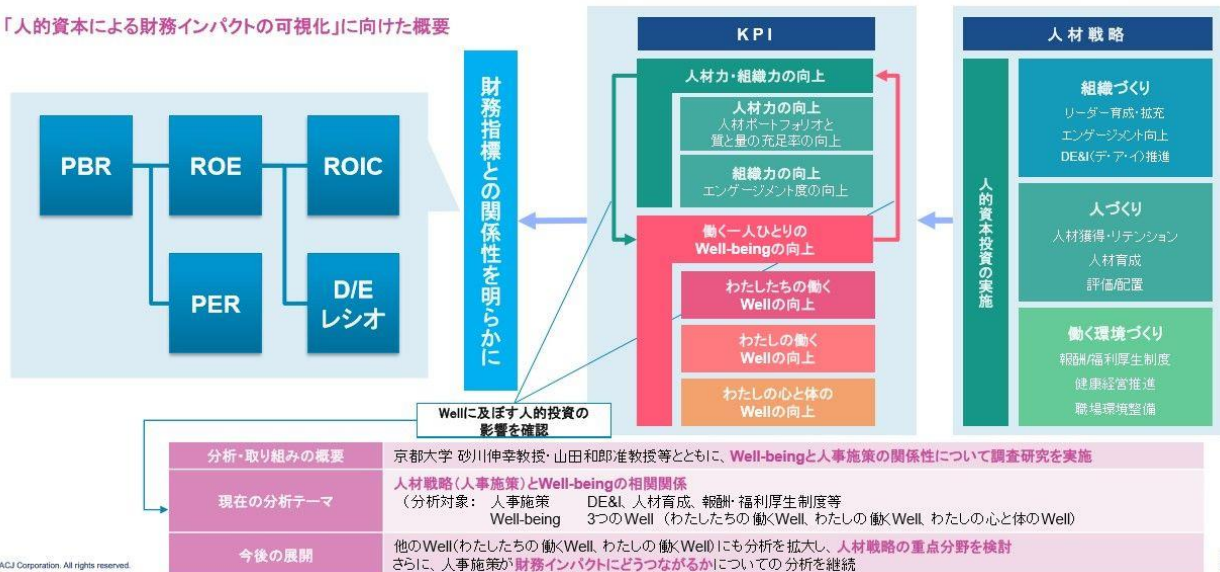


## 人的資本による企業価値向上の可視化

\*相関性: 統計的優位性をもって相関性を確認

### 一部の人事施策と「わたしの心と体のWell」に相関性\*があることを確認

「人的資本による財務インパクトの可視化」に向けた概要



32

今回、これまでご報告しましたように、ピープルステートメントと人的資本経営の全体像を策定しました。UACJ グループで働く一人ひとりの Well-being の向上に取り組んでいくことを新たに目標としていくことを踏まえて、現在、人材戦略の各施策と三つの Well、「わたしの心と体の Well」、「わたしの働く Well」、「わたしたちの働く Well」の関連について、京都大学の協力を得ながら、分析を進めています。

人材、組織づくりの推進が、働く一人ひとりの Well-being の向上の好循環にどのようにつながり、最終的に財務指標の改善、ひいては企業価値創出にどう寄与するかを整理し、より有効な人材戦略を立案・実施することが重要だと考えています。

一部ではございますけれども、人事施策に相関性があることが分かってきています。今後、他の Well にも分析を広げ、人材戦略の重点分野等を検討していく予定です。さらに、この人事施策が財務インパクトに最終的にどうつながっていくかについても、引き続き分析を進めていきます。

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 人的資本経営の深化

多様な人材が活躍できる職場づくりを推進  
～「プラチナくるみん」の認定取得および共育プロジェクトの好事例企業として紹介



働き方改革EXPOにおける「共育プロジェクト」の出展ブースの様子

- ✓ 男性育休取得率70%超、不妊治療支援制度を整備し、「**プラチナくるみん**」の認定を取得
- ✓ **厚生労働省「共育プロジェクト」**において、**男性の育児休業**に積極的に取り組む好事例企業として紹介
- ✓ 福利厚生制度の活用・充実を通じて、より働きやすい職場環境を構築し、会社の持続可能な成長を目指す

<sup>1</sup> プラチナくるみんURL: [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/buny a/kodomo/shokuba\\_kosodate/kurumin/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/buny a/kodomo/shokuba_kosodate/kurumin/index.html)

<sup>2</sup> 厚生労働省「共育プロジェクト」URL: <https://tomoiku.mhlw.go.jp/>

ご参照) 厚生労働省「共育(トモイキ)プロジェクト」の好事例企業に「グローバルアルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ」(2025年9月1日)

子育てサポート企業として厚生労働大臣より「プラチナくるみん」認定を取得「グローバルアルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ」(2025年10月6日)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

33

直近の成果について少しご紹介いたします。

働く環境の整備を進めてきた結果、プラチナくるみに認定されました。また、男性育休に積極的に取り組む好事例として、働き方改革 EXPO で当社が紹介されました。これはご紹介です。

## 誰もが幸せを感じられる健やかで調和の取れた社会へ



© UACJ Corporation. All rights reserved.

あなたをWellに。みんなをWellに。

### UACJ Well WAVE

UACJが考える Well-being。

それは、一人ひとりが健康で心が充実し  
幸せを感じられるような良い状態 “Well” が、  
家族や周りの人々、地域や社会の Well につながり、  
その Well がまた一人ひとりに返ってくる「Well の WAVE(波)」だと考えます。

あなたの Well は何ですか。

生きがいや働きがいを感じるのはどんな時でしょう。

家族や友人、同僚の Well を知っていますか。

会社や地域、社会にとっての Well って何でしょう。

一人ひとりが自分らしく輝くことができるように

UACJはみんなの未来を Well にしていきたいと考えます。

まずはあなたが Well であるように。

そして、いろいろな Well が波のように広がり、重なりあっていけるように。

あなたを Well に。みんなを Well に。

34

ここまで説明してきたように、人材戦略を着実に進め、当社グループの持続的な発展に人材面から寄与してまいります。人材戦略の実行を通じて、働く一人ひとりの Well、人材・組織づくりの好

## サポート

日本

050-5212-7790

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasia.com



循環を実現して、Well-being の中心となる UACJ グループで働く一人ひとりの Well-being、そして、その個人の Well を職場の仲間、家族、取引先、地域・社会等の Well に広げていく、これが最終的な Well WAVE です。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

**上田**：浦吉さん、ありがとうございました。

[了]

---

## 脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com